

2025

KONAN 未来サポーターズ 事業実施状況

〔事業期間：2025 年 4 月 1 日 ▶ 2026 年 3 月 31 日〕



<u>01.奨学金・奨励金支援</u>	様々な理由により、経済的に困難な学生・生徒に対して 奨学金・奨励金で支援
<u>02.学生・生徒プロジェクト支援</u>	学生・生徒が学内外で行う各種プロジェクトへの支援
<u>03.文系学生に対する教育研究支援</u>	文系学生の教育研究活動の活性化を支援
<u>04.理系学生に対する教育研究支援</u>	理系学生の教育研究活動の活性化を支援
<u>05.教育・研究活動支援</u>	教育研究環境の整備および教育研究活動の発展・充実、 各種資格取得等に対する支援
<u>06.国際交流支援</u>	学生・生徒の留学、外国人留学生の修学、学術交流の 活性化の支援
<u>07.課外活動支援</u>	大学の体育会および文化会、中高の各クラブに対する 備品購入等の支援
<u>08.地域連携活動支援</u>	地域との連携を通じた教育活動の支援
<u>09.図書整備支援</u>	図書・電子図書の充実化のための支援
<u>10.中高大一貫教育推進支援</u>	中学、高校、大学の一貫教育推進・充実のための支援
<u>11.キャンパス整備支援</u>	安全・快適なキャンパス作り、学習環境の整備のための支援
<u>12.リカレント教育支援</u>	リカレント教育・社会人講座・公開講座等の支援
<u>13.学園資料整備事業</u>	学園にある長谷川三郎や貴志康一等の貴重な資料を 保管するための支援

INDEX

大学		高等学校・中学校	
奨学金・奨励金支援	1	学生・生徒プロジェクト支援	1 2
学生・生徒プロジェクト支援	3	国際交流支援	1 3
教育・研究活動支援	4	課外活動支援	1 4
国際交流支援	5	キャンパス整備支援	1 5
課外活動支援	6		
地域連携活動支援	8		
図書整備支援	9		
中高大一貫教育推進支援	1 0		
学園資料整備事業	1 1		

01 | 奨学金・奨励金支援

活用事例



人文科学研究科英語英米文学専攻の心理言語学研究奨励金

- ・令和6年12月：
人文科学研究科英語英米文学専攻在学生に対して本奨励金について告知（MYKONAN、およびHP内の英語英米文学専攻 言語学・心理言語学ラボにて告知）
<https://www.konan-u.ac.jp/hp/els/psychling/>
- ・令和7年2月10日~3月8日：
本奨励金の受給申請受付を実施。英語英米文学専攻4年次生（当時）1名より受給申請がありました。
- ・令和7年3月10日：
運用内規に基づいて設置された受給申請者に対する審査委員会にて、申請者の奨励金受給が承認されました。
- ・令和7年3月24日：
人文科学研究委員会にて申請者の奨励金受給が承認されました。
その後受給申請者本人に通知しました。
- ・令和7年7月11日、令和7年11月14日：
受給申請者本人に奨励金200,000円が2回に分けて給付されました（銀行振込）。



なおこの制度は、原資が消滅するまで、2026年度以降も運用予定です。



寄付者のみなさまへ

このたびはご寄付を賜り、ありがとうございます。本取組がご卒業生等からのご賛同により、今後さらに原資が増え、人文科学研究科の奨励金制度として継続していくことをお祈り申し上げます。
(教職員より)



学業優秀者への経済的支援を目的とした奨励金

JASSO 貸与奨学生のうち優秀な学業成績を修めている卒業予定の学生に対し、奨励金を給付しました。

採用者：35 名 内訳は以下の通りです。

学士課程：文学部 5 名（内訳：日本語日本文学科 1 名、英語英米文学科 1 名、社会学科 1 名、人間科学科 1 名、歴史文化学科 1 名）、経済学部 4 名、法学部 4 名、経営学部 4 名、理工学部 3 名（内訳：物理学科 1 名、生物学科 1 名、機能分子化学科 1 名）、知能情報学部 2 名、マネジメント創造学部 3 名、フロンティアサイエンス学部 1 名。修士課程：人文科学研究科 2 名（英語英米文学専攻 1 名、応用社会学専攻 1 名）、自然科学研究科 3 名（物理学専攻 1 名、化学専攻 1 名、生物学専攻 1 名）、フロンティアサイエンス研究科 1 名。博士後期課程：人文科学研究科 1 名、自然科学研究科 1 名、フロンティアサイエンス研究科 1 名の計 35 名。

2025 年 11 月 17 日には「KONAN 未来サポーターズ寄付金優秀者奨励金」授与式を 3 号館 7 階の第 4 会議室で開催しました。

授与式には 28 名の学生が出席し、中井伊都子学長より通知書を受け取りました。受給者の代表謝辞では、ご寄付くださったサポーターの方々への感謝と、学生生活の取り組みが認められた喜びの気持ちが述べられました。

受給者の学生全員から集まったコメントでは、KONAN 未来サポーターズの方々への感謝と選ばれた喜びの気持ちとともに、今後の目標や頑張っていることなど、卒業後への飛躍につながる言葉が多く綴られていました。

授与式の様子は、学生生活支援センターホームページのニュースに掲載しています。

(<https://www.konan-u.ac.jp/news/archives/54906>)



寄付者のみなさまへ

この度は学生たちへの支援として沢山のご寄付をいただき、ありがとうございました。受給した学生たちは非常に喜んでおり、経済的な支援や一生懸命に学業に取り組んできたことが認められた喜びと、ご寄付いただいた方々への感謝の言葉が多く集まっています。

(学生生活支援センター教職員一同より)



02 | 学生・生徒プロジェクト支援

活用事例



みんなで創る”私たちの甲南”ムービープロジェクト

学生自身の視点から甲南大学の魅力を発信する「みんなで創る“私たちの甲南”ムービープロジェクト」を実施しました。

本企画は、在学生在が個人またはグループで動画作品を制作・応募するもので、学生生活、学び、キャンパスの雰囲気、友人とのつながりなど、学生が日々の大学生活の中で感じている“私たちの甲南”をテーマに、1分間の大学ムービーを制作する取組です。学生一人ひとり、またはグループならではの感性や表現を生かし、学生自身が本学の魅力を見つけ、伝えることを目的としています。

応募作品には、甲南大学のリアルな魅力や学生ならではの視点が表現されており、動画・静止画・アニメーション等を活用した多様な作品が寄せられました。本企画を通じて、学生が本学の良さを改めて見つめ直すとともに、自らの言葉や表現によって、他者に向けて主体的に発信する機会となりました。

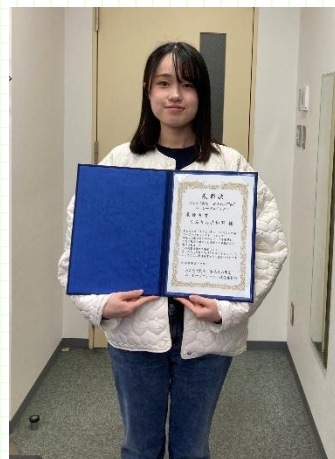
審査では、学生事務局による選考に加え、一般学生による投票を実施し、優秀作品および最優秀作品を決定しました。選定された作品については制作補助費を支給し、最優秀作品を表彰しました。

今後は、制作された作品を学内放映や大学 PR 等に活用し、学生目線による本学の魅力発信につなげていきます。

応募作品



表彰



寄付者のみなさまへ

おかげさまで本年度も多くの作品が集まりました。
参加した学生たちにとって自校愛を育む貴重な機会をいただきました。
改めて御礼申し上げます。

(教員より)

✍ 教員採用試験受験に関するサポート体制の充実について

教員採用試験受験に関するサポート体制の充実として、教員を目指す学生が使用する教員採用試験の参考書・問題集（128冊）を KONAN 未来サポーターズのご寄付で購入させていただきました。

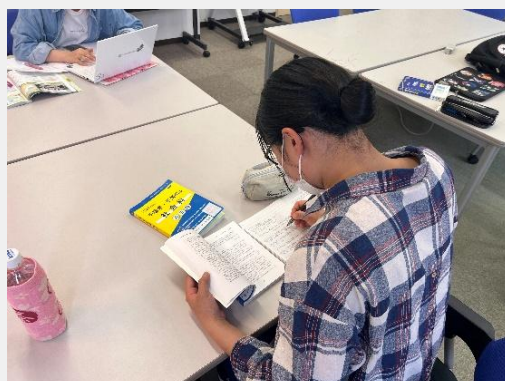
令和7年10月に開催した教職を目指す学生が参加する「教職スタートゼミ」から購入した参考書・問題集を使用させていただき、以降は教職課程履修学生の自習室「教職教育センター コモンズ（KTC）」に配架して学生が自習に使用しています。貸出も認めており、熱心な学生は自宅でも参考書・問題集の活用をしています。

KONAN 未来サポーターズの寄付金で各自治体の参考書・問題集を購入することができたため、学生は受験候補を広く検討することができ、選択肢を増やすことができました。

教職教育センターでは、今後も甲南大学が掲げる「人物育成の教育」を実現できる教員を輩出できるよう努めてまいります



■ご寄付で購入したことが分かるように配架



■KTC で自習している様子①



■KTC で自習している様子②



■教職課程履修学生

📢 寄付者のみなさまへ

多くの自治体の過去問・参考書をご寄付で揃えていただきありがとうございました。色々な自治体の出題傾向を見ることができ、受験自治体を検討するうえで参考にさせていただいています。

（教職課程履修学生より）



留学前サポート講座

2026年度前期出発(2026年4月に出発するもの)および同年度後期出発での留学が決定した学生を対象に参加者を募り、2026年2~3月に実施しました。主に交換留学生を対象にライティングとリーディングに焦点をあてた“アカデミック英語講座”を合計10日間、提供しました。そして、奨励留学・語学プラス交換・交換留学生に対しては、日常会話の英語力を向上させることを目標に“留学英会話講座”を合計5日間提供しました。また、留学先大学から甲南大学にきている留学生との人脈作りのため、Year-in-Japan(YIJ)プログラム参加留学生と交流する会を2月10日(火)と3月3日(火)にグローバルゾーンにて開催しました。互いの情報交換、親睦を深める機会となり、春期休暇中のキャンパスでの国際交流の活性化に寄与する機会となりました。

“アカデミック英語講座”では、ペアワーク・グループワークを多く取り入れ、客観的・主観的な文章の書き方を学びました。アカデミックな文章を読み、読解力を試す問題に答えることで、さまざまなトピックについての理解を深めることができました。“留学英会話講座”の円滑なコミュニケーションの確立を目的とする授業では、日常会話で頻繁に遭遇する場面を想定した実践的なスピーキング能力の養成に重点が置かれており、参加学生は皆、意欲的に授業に参加しました。

本講座を受講した交換留学予定学生は、アカデミック英語講座に参加したことで、留学前に欧米圏の大学での授業の受け方や英語レポートの書き方に関する予備知識を得ることができました。奨励留学予定学生についても、“留学英会話講座”に参加することで、現地到着直後から英語圏での生活をする準備を前もってすることができ、非常に有意義な体験となりました。



寄付者のみなさまへ

ほとんどの学生が初めての留学ですので、これまでは留学先での英語だけの授業や生活に戸惑うことが多かったのですが、ご提供いただいた寄付金で“アカデミック英語講座”や“留学英会話講座”を提供したことで、英語だけの授業に事前に備えることができるようになりました。また、慣れない土地で円滑に留学を開始できるよう、本学にきている留学生との交流会を開催することもできました。寄付をしてくださった皆さまの多大なるご支援に心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

(国際交流センター教職員一同より)



クラブ活動奨励金

正課外教育の一環であるクラブ（体育会 47 団体、文化会 27 団体）の活動をさらに活性化させ、学生の成長を促すことを目的として、各クラブの活動に資する費用を支援しました。

資金の使途についてはルールを定めておりますが、可能な限り学生が必要とする用途で使用できるように、学生たちとコミュニケーションを取りながら執行の可否を検討し、学生の経済的な負担の軽減と、活動環境の改善に活用させていただきました。また、今年度初めて指導者報酬料にも使用させていただき、より課外活動団体の活動が充実したものとなりました。

- | | |
|---------------|------------------------------|
| ・アメリカンフットボール部 | インカム一式、Hudl（ハドル）等 |
| ・グリークラブ | 施設利用料および付帯設備使用料 |
| ・ゴルフ部 | ゴルフボール |
| ・サッカー部 | アイリスプラサ台車折りたたみ |
| ・バスケットボール部 | カメラ、アシスタントコーチ指導料等 |
| ・ボードセーリング部 | モーターボートエンジン整備費用 |
| ・ホッケー部 | PC マスク代 |
| ・ライフル射撃部 | 部旗送料 |
| ・ラグビーフットボール部 | テーピング |
| ・弓道部 | 的紙 400 枚、神棚のお酒 |
| ・硬式野球部 | バット代 |
| ・自動車部 | ZC31S 車両代、ダートトライアル大会競技車両の運搬等 |
| ・写真部 | 写真波打ち防止シート等 |
| ・女子バスケットボール部 | バスケットボール 13 個、スピーカー |
| ・女子陸上競技部 | ミニハードル、トラックスピーカー等 |
| ・卓球部 | ジャパントップクリーントレ球等 |
| ・陸上競技部 | トレーニング用品 |
| ・クラブ共通貸出備品 | スピーカーマイク、マイク用充電器 |





寄付者のみなさまへ

この度は、未来サポーターズ制度を通じて甲南大学硬式野球部へ温かいご寄付を賜り、誠にありがとうございます。頂戴いたしましたご支援により、バットを購入させていただきました。心より感謝申し上げます。

本学硬式野球部は部員数も多く、日々の練習や試合の中でバットが折れてしまうことも少なくありません。道具の消耗が激しい中で、今回のご寄付は選手たちにとって大きな支えとなりました。新しいバットで練習・試合に励むことができているのも、ご支援のおかげです。皆様のご厚意に応えられるよう、部員一同、より一層練習に励み、結果で恩返しができるよう精進してまいります。

改めまして、この度の温かいご支援に心より御礼申し上げます。今後とも甲南大学硬式野球部へのご声援をよろしくお願い申し上げます。（硬式野球部より）



08 | 地域連携活動支援

活
用
事
例



ユニフォーム着用での地域連携活動により本学訴求力向上

地域連携センターが主管する様々な地域連携活動にて、ユニフォーム着用による一体感の醸成と本学の活動であることを地域の皆様に PR する目的で、ユニフォーム制作を行いました。

ベストとジャンパーの2種類を作成。色は紺色で、和文・英文・白字で左胸と背面に大学名を記載しました。

制作したベストは、3月に開催した「ぼうさい授業」の魚崎中学校への本番イベントにて、参加学生に着用してもらい、参加学生の一体感を高めるとともに本学の PR に繋げることができました。

本ユニフォームについては、社会連携機構事務室・地域連携センターでの共有を行い、各種イベントで活用していく予定です。



寄付者のみなさまへ

皆様からのご寄付により、地域活動におけるジャンパー・ベストを制作することで、活動時の一体感の醸成と、本学の地域連携活動の地域への PR の充実を図ることができました。

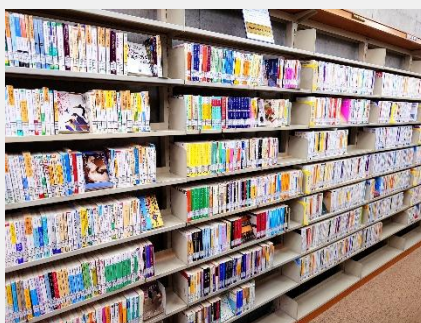
(職員より)



図書館資料充実化事業

手に取りやすく利用者の多い新書や文庫を中心に幅広いジャンルから選書し、合計 134 点を整備しました。また学園史資料室で保管されていた震災写真ネガフィルム 765 点について、専門業者によるデジタル化を行うことができました。今後、内容精査のうえ『阪神・淡路大震災デジタルアーカイブー学園が震えた日ー』の追加コンテンツとして順次公開予定です。

KONAN 未来サポーターズ文庫



学園史資料室震災写真（左・1号館前、右・図書館入口）



寄付者のみなさまへ

いつも甲南学園をご支援くださりありがとうございます。今回いただきましたご寄付で幅広いジャンルの図書を多数購入することができました。また学園史資料室に保管されていた震災写真もさらにデジタル化を進めることができました。昨年公開いたしました阪神・淡路大震災デジタルアーカイブも今後益々充実させていく予定です。引き続き甲南大学図書館をよろしくお願いいたします。
(図書館長より)



中高大一貫教育プログラムの充実

【「高大連携講座」の充実】

11月28日、高三「法学入門」の授業において、「イノセンス・プロジェクト・ジャパン」のボランティア学生(甲南大学生)の協力のもと、冤罪関連のレクチャーとワークショップを高校で実施しました。

【「キャリア・デザイン」の充実】

小論文指導

10月23日、内部進学予定の甲南高校3年生約90名が甲南大学を訪問し、全学共通教育センター高砂講師より小論文指導を受けたほか、授業・施設見学や食堂利用等を通じて、甲南大学での学生生活を一部体験し、進学・学習意欲を高めました。

【グローバル関係交流プログラムの充実】

11月15日、KONAN Interculture Dayを開催し、甲南大学の外国人留学生21名が高中を訪問しました。グループに分かれ、英語でプレゼン・質疑応答やアクティビティを行うことで、生徒にとってグローバルな経験の機会となりました。

【課外活動での交流充実】

甲南中高生が大学の六甲アイランド施設で大学生とともに課外活動に取り組みました。大学生と中高生の交流促進、生徒が大学の充実した施設を体験する機会の創出につながりました。

【三学園環境学習の成果展示】

9月27日、28日に開催された文化祭にて、三学園の活動が始まった当時の写真の展示や今年度の取り組みについてポスター展示を実施。

また、今年度は藁を活用した鍋敷きや、落ち葉を使ったしおり、絵馬を製作し、来場者、特に受験生へプレゼントを行いました。 ※三学園：甲南大学・甲南高等学校中学校、甲南小学校、甲南女子高等学校



寄付者のみなさまへ

みなさまのご支援のおかげで、甲南大学生と甲南高校生・中学生が交流し、共に学ぶ機会を数多く作ることができました。早期から交流の機会を持つことで、今後も本学園の特長の一つである10年一貫教育の充実を目指したいと思います。この度はご支援いただきまして誠にありがとうございました。
(職員より)

13 学園資料整備事業

活用事例



学園資料整備事業

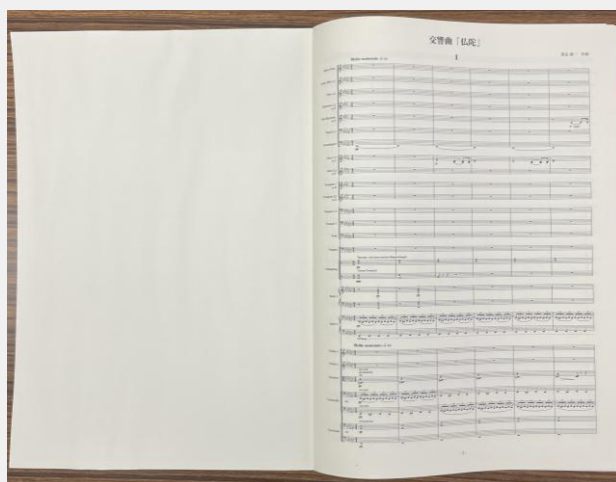
本事業では、学園が保有する貴重な文化的資産の適切な保管および活用を推進するため、環境整備および資料活用体制の強化を実施しました。

貴志康一記念室および長谷川三郎記念ギャラリーにおいて、史資料の保存環境を向上させるための清掃体制の充実に取り組みました。史資料の保管にあたっては、温度や湿度の調整はもとより、害虫を予防するためにもチリやホコリの定期的な除去が必要です。

この度は、寄付金を清掃用具の購入に活用させていただきました。

また、貴志記念室において貸出ニーズの高い楽譜については、貸出用資料の充実化に取り組みました。プロの演奏家も利用するため、貸出用の楽譜を作成するには、専門の複写技術が必要となります。

この取り組みの一環として、寄付金を活用させていただき、特に利用頻度の高い楽曲の貸出用楽譜の複製および製本を実施いたしました。利用者の利便性向上とともに貴志康一作品の普及促進につなげることができました。



寄付者のみなさまへ

このたびは、KONAN 未来サポーターズ制度を通じて温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。皆様からのご寄付により、貴重な史資料の保存環境の整備や資料活用の充実を図ることができました。今後も、これらの資産を広く社会へ発信し、その価値を次世代へ繋いでまいります。引き続き、本学園へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

02 | 学生・生徒プロジェクト支援

活用事例



生徒の諸活動の活性化推進支援

KONAN 未来サポーターズのご寄付により、本校にクラブがないスポーツ・研究活動・芸術活動等で、甲南の名を馳せる活躍をした生徒への支援を行いました。

また支援を通して、学校外での生徒の諸活動の可視化・活性化に寄与する制度を構築しました。

1. 対象者 1名

横山 立（高校一年）

- ・ 関西選手権水泳競技大会アーティスティックスイミング競技
 - 男子ソロ 2 位
 - ミックスデュエット 1 位
- ・ 日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2025
 - 男子ソロフリールーティン 4 位
 - 男子ソロテクニカルルーティン 5 位
 - ミックスデュエットフリールーティン 3 位
 - ミックスデュエットテクニカルルーティン 1 位
- ・ 第 48 回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会 15-18
 - 男子 3 位
- ・ 第 29 回ユースソロ・デュエット大会 ミックスデュエット 2 位

2. 奨学支援 50,000 円



寄付者のみなさまへ

この度は温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。

2025 年は初めて日本代表選手派遣選手選考会に参加いたしました。2026 年は 5 月 22 日から開催されます日本選手権に初めて出場いたします。

今年度も更なる活躍を目指し日々努力を重ねて参ります。

引き続きご支援・ご声援の程よろしく願いいたします。

活動につきましてはInstagram

@yt_artistic_swimming_club でご覧ください。





海外大学進学チャレンジ支援

KONAN 未来サポーターズのご寄付により、海外大学への進学を目指し合格した生徒に対し、奨励費を支給し、受験での費用や海外大学での生活費の一助として支援を行いました。

1. 対象者 2名

林 大智： Arizona State University（アメリカ）
勝井 悠翔： University of British Columbia（カナダ）

2. 奨学支援 50,000 円/人

渡航前の意気込み

私は UBC で、将来の目標であるアパレル事業と環境保全の両立を実現させるため、主体的にかつグローバルな視点から学びを深めたいと考えています。また、バレーボールや SEEDS Program などの部活動を通して、新たな知見や可能性を模索していきます。



勝井 悠翔



寄付者のみなさまへ

温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。学校様からのご支援に心から感謝しています。私は大学での学びを通じて、自分自身を大きく成長させ、将来は社会に貢献できる人になりたいと考えています。これまでの経験を活かし、新しい環境でも積極的に挑戦していきます。皆様のご期待に応えられるよう、これからも努力していきます。



林 大智



寄付金指定クラブの活動支援

寄付者から指定のあった各クラブの活動費・強化費に充当しました。本年度は5クラブとクラブ共通として総額 896,291 円支援いただきました。また、今年度は新たにホッケー部が追加され、支援の輪が着実に広がっております。物品の購入、使用にあつては、生徒自身が所属するクラブにファンやサポーターがいることの理解を促し、アスリートとしての心構えを体得させるとともに戦績の向上につなげるべく、教育指導に努めました。

- ・ホッケー部：ユニフォーム、ボール
- ・ラグビー部：メディシンボール、テーピング等消耗品
- ・柔道部：パワーグリップ
- ・馬術部：練習場飼料代等
- ・バスケットボール部：バスケットボール
- ・クラブ共通：担架



寄付者のみなさまへ

この度は、クラブ活動支援のご寄付をいただき、誠にありがとうございました。チームスタッフ・部員一同心より御礼申し上げます。ご寄付いただいたお金は、主に物品やユニフォームなどの必要なアイテムの購入に使わせていただいております。今後ともご期待に応えられるよう、日々懸命に活動してまいりますので、今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



ユニフォームを新調してから挑んだ第 60 回西日本 6 人制ホッケー選手権大会の中学男子 2 部では、見事初優勝を果たしました！

11 | キャンパス整備支援

活用事例



不審者対策用刺股の配備支援

中学校入試の実施前日となる1月16日、不審者の校内侵入への備えと実践訓練の充実を目的に、体育館や化学実験室等を除く、全30室の普通教室の黒板下に刺股（さすまた）を配備することができました。校内全ての普通教室への配備は、兵庫県の男子中学校・高校で初になります。

本校では警備員配置・セキュリティ機械設置により、学校安全に努めてまいりました。昨年は、大阪教育大学附属池田小学校元校長で同大学の佐々木靖教授を講師に招き、研修を実施。

この研修で、全教職員が一丸となって不審者と対峙しながら、生徒避難の時間を稼ぎつつ、警察への通報、負傷者の救護に当たる必要性が理解できたことから、刺股の配備に至りました。

今後は、寄付下さった皆さまの学校安全への想いを背負い、実践的な訓練を継続し、生徒の命を守る取り組みを、他校や社会に広めて参ります。

訓練の様子



刺股設置の様子



寄付者のみなさまへ

ご寄付により、全ホームルーム教室に刺股を配備することができました。これは単なる設備の充実にとどまらず、「不審者対応」に対する教職員一人ひとりの意識を高め、実践的な訓練の継続・発展へとつながる大きな一歩だと感じています。さらに、本取り組みを契機として、育友会からの協力を得て、保護者証の導入を行うことができました。皆様からの温かいご支援が、本校の安全を支える確かな力となっていることに、心より感謝いたします。

(教頭より)